

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Prognostic value of angiogenesis evaluated with high-frequency and colour Doppler sonography for preoperative assessment of primary cutaneous melanomas: correlation with recurrence after a five year follow-up period.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ6-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ I V ）	
	Pubmed ID	16644502	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer Imaging	
	雑誌 ID	101172931	
	巻	6	
	号		
	ページ	24-29	
	ISSN ナンバー	p 1740-5025 e 1470-7330	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2006	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Lassau N	Department of Medical Imaging, Institut Gustave Roussy, Villejuif, France
	その他著者 1	Lamuraglia M	
	その他著者 2	Koscielny S	
	その他著者 3	Spatz A	
	その他著者 4	Roche A	
	その他著者 5	Leclere A	
	その他著者 6	Avril MF	
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	悪性黒色腫原発巣における術前評価として高周波，カラードップラーエコーを用い，血管新生と予後に関して 5 年間の再発例の検討を行う。	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	悪性黒色腫での受診患者	
	対象者	111 名の悪性黒色腫患者	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（ 14 ）	
	介入（要因曝露）	悪性黒色腫原発巣を術前に高周波エコーにより tumor thickness を測定し，切除後の組織学的な tumor thickness と比較した。またカラードップラーエコーを用い血管新生を測定した。	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再発	1. 主要 2. 副次 3. その他（ 1 ）
	2	血管新生	1. 主要 2. 副次 3. その他（ 2 ）
	3	tumor thickness	1.主要 2.副次 3.その他（ 2 ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	悪性黒色腫原発巣を高周波エコーで測定した tumor thickness と Breslow's tumor thickness に強い相関がみられた ($r>0.93$)。カラードップラーエコーでは 107 例中 43 例に腫瘍内に血管新生がみられ，そのうち 40 例は tumor thickness が 2mm 以上であった。中央値 61 ヶ月の観察期間で 27 例に再発がみられた。エコーでみられる血管新生と tumor thickness は再発と強い関連があった。	
	結論	血管新生は主に厚い黒色腫においてみられた。 5 年間のフォローアップでは血管新生が予後に関係していることが分かった。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	林 宏一	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV)	